

ひとり浴



ひとり浴とは・・・

お年寄りに限らず日本人が普通に入っている使い慣れ親しんだ風呂、どこにでもある普通の風呂のことです。自分が日々入るお風呂と思って頂ければ解りやすいと思います。

入浴は大切な生活習慣の一つです。**障害があっても、寝たきりでも安心して入浴していただきたい！！**そんな気持ちから、のぞみ船小屋でのひとり浴が始まりました。それまで、のぞみ船小屋は大浴槽と機械浴のみでした。

しかし、それでは「大きいお風呂は怖い」「もっと熱めのお湯に浸かりたい」と思われる方々には個々に対応することが出来ませんでした。

そんな方々の為に、平成16年12月より職員が手作りで足乗せ台・椅子を作り、家庭用浴槽で入浴して頂くことからひとり浴が始まりました。

そして昨年10月、3階の浴室を改修し新しい浴室でのひとり浴がスタートしたのです。

現在26名の方にひとり浴を利用して頂いています。(10月20日現在)



とても雰囲気良く、満足しています♪

個浴利用者の声

自宅で入浴していた頃を思い出します。



ひとり浴を行うことで、

- ※ マンツーマンで対応できるため、コミュニケーションが取りやすい。
- ※ ご利用者一人ひとりの好みの温度でゆったり入浴できる。
- ※ 大浴槽に比べ体が浮きにくいので、安心して入ることができる。
- ※ ひとり浴か一般浴か、ご利用者が選択できる。
- ※ 入浴の際、ご利用者の状態に応じた介助法を用いるため、ご利用者・介助者の身体的負担が軽くてすむ。(どなたでも入浴する事ができます)というメリットがあります。

入浴委員会が中心となって、定期的にひとり浴勉強会を開催し、職員の技術向上にも努めています。



ひとり浴勉強会の様子



ご利用者の方々に喜んで頂いて嬉しく思います。ご利用者の皆さまに、安心して入浴して頂くのはもちろん、楽しんで頂けるような企画を一般浴でも考えていきたいと思っています。

また、今後はひとり浴を自立支援に活用していきたいと思っています。ご自宅でも入浴したいと考えられている御家族の相談もお受けしていこうと考えています。

お気軽にご相談ください。

のぞみ船小屋入浴委員会